

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
35105	TOEICリスニング TOEIC Listening	鈴木 尊士		専門	1	選択	1・2後期

科目の概要

この授業では、TOEICのリスニング問題について学習し、点数アップをねらいます。TOEICは英語能力試験の中でも利用される頻度が高く、社会人になってもキャリアアップのために必要なことが多い試験です。また、内容は日常生活に密着しているため、勉強したことがすぐに役立つ可能性も高いです。リスニングで高得点をねらうためには、英語力をつけることがまずは第一ですが、テストですので、コツはあります。リスニングの基礎力を高めながら、TOEICの問題とその傾向に慣れるようにします。リスニングには4つのパートがありますが、パートごと、問題傾向ごとに学んでいきます。TOEICのリスニングパートの学習を通して、社会人基礎力とpisa型学力の発揮方法、建学の精神の実践方法を修得し、自分の可能性を広げましょう。この授業は、ディプロマ・ポリシーの①④⑤に相当する。これらを身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① TOEICの問題を解く。 ② TOEICリスニング問題解答のコツ、ポイントを学修する。 ③ 英語の発音とイントネーションを学修する。 ④ 分かる単語しか聞き取れないので、単語を増やす。 ⑤ 授業とともに予習・復習をしながら、学習習慣を身につける。	① 毎回問題を解いていくことで、問題の時間配分を工夫することができる。(ディプロマポリシー②③に相当する) ② TOEICのリスニングや海外に行った際に応用することができる。(ディプロマ・ポリシー④⑤に相当する) ③ 英語のリズム、発音、イントネーションに慣れ、様々な英語にも対応することができる。(ディプロマ・ポリシー④⑤に相当する) ④ 単語数を増やすことで、積極的に会話に参加することができる。(ディプロマ・ポリシー②③⑤に相当する) ⑤ 授業に真面目に取り組み、予習・復習などの学習習慣をつけることができる。(ディプロマ・ポリシー①に相当する)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	<ul style="list-style-type: none"> 予習をする。TOEIC450点を目標として、教科書とは別に、自分でも問題集を購入するなどして、日頃から努力をすることができる。 復習をして、できなかったところをしっかりと覚えることができる。 pisa型学力が上がるように、進んで努力することができる。
	働きかけ力	
	実行力	<ul style="list-style-type: none"> 授業内の課題、予習・復習、宿題などを着実に実行することができる。 努力の結果、以前よりも点数を上げることができる。
考え抜く力	課題発見力	<ul style="list-style-type: none"> 自分にとっての課題を認識することができる。(聞き取れなかった発音やイントネーションを自覚して、復習時に聞きなおすことにつながる。)
	計画力	
	創造力	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の枠を越えて、英語の考え方に想いをめぐらせることができる。 日常の場面、将来出会うだろう場面を想像しながら、問題を解くことができる。
チームで働く力	発信力	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手を意識して、相手の目を見て(アイコンタクト)、はっきりと話すことができる。 全員で発話する機会、個人で発表する機会があれば、しっかりと発信を行うことができる。
	傾聴力	<ul style="list-style-type: none"> 集中して、問題を解き、また、他者の説明や発表を聴くことができる。そして、聴いたことを生かすことができる。 指示をよく聞いて、作業を行うことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：竹村日出夫他3名「TOEIC L&R Test: 500 Power Phrases 南雲堂、2019年。2,310円(税込)プリントも適宜利用します。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：TOEICリーディング

資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
知っている文法や単語しか聞き取れないので、英語の文法、単語を日頃から復習するようにしてください。(英語の学力は、かけた時間とも少し相関があります。) リスニングのCDを聞き、自分の分からない部分をそのままにしないようにしましょう。 家でもTOEICの問題集をやるなどして、問題に慣れましょう。 交換留学に応募したい場合には、TOEICが必要になる場合があるので、受講をお勧めします。欠席して行かなかった課題やアクティビティがあると、その点位数も下がります。欠席はしないようにしましょう。	授業に積極的に参加してください。基本的なルール(無断欠席、遅刻、居眠り、私語をしないなど)を守ってください。 携帯電話の電源は切り、カバンに入れておきましょう。 受講者は、TOEICのIPテストをみなで受験します。 交換留学に応募したい場合には、TOEICが必要になる場合があるので、受講をお勧めします。高校の時に使っていた英語の辞書を持ってくるといいと思います。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	20	①	✓	小テスト、宿題、課題などにより、平常の努力を評価する。 *毎週の小テストの点数の平均、クラスルームや紙の宿題の提出状況を中心に、課題の行い方、復習の程度、知識の定着度なども加味する。 *小テスト、宿題、課題としては、pisa型学力の「知識・情報等の資源を獲得する力、活用する力、ならびに、活用して解決する力」が発揮できているかどうかを評価できるものを出す。 *小テストの出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
レポート		0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①	✓	授業で習った内容が理解できた結果として、問題を解くことができる（正答することができる）。 *TOEICのIPテストの点を評価します。到達目標の達成に日頃から努めましょう。 ①毎回問題を解いていくことで、問題に慣れることができる。 ②TOEICのリスニングの点数を少しでも上げることができる。 ③英語のリズム、発音、イントネーションに慣れ、以前よりも分かるようになる。 ④単語数を増やすことができる。 ⑤授業に真面目に取り組み、予習・復習などの学習習慣をつけることができる。 *TOEIC IP試験では、pisa型学力の「獲得した知識・情報等の資源を活用して課題を解決する力」が発揮できているかどうか判断される。		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<small>(主体性)</small> ・ 予習をする。TOEIC450点を目標として、教科書とは別に、自分でも問題集を購入するなどして、日頃から努力をすることができる。 ・ 復習をする。できなかったところをしっかりと覚えることができる。 ・ pisa型学力が上がるように、進んで努力することができる。 <small>(実行力)</small> ・授業内の課題、予習・復習、宿題などを授業に行うことができる。 ・ 努力の結果、以前よりも点数を上げる事ができる。 <small>(課題発見力)</small> ・ 自分にとっての課題を認識することができる。（聞き取れなかった発音やイントネーションを自覚して、復習時に聞き直す ことにつなげられる。） <small>(創造力)</small> ・日本語の枠を越え、英語の考え方に思いをめぐらせることができる。 ・ 日常の場面、将来出会うであろう場面を想像しながら、問題を解くことができる。 <small>(発信力)</small> ・ 聞き手を意識して、相手の目を見て（アイコンタクト）、はっきりと話すことができる。 ・ 全員で発話する機会、個人で発表する機会があれば、しっかりと発信を行うことができる。 <small>(協働力)</small> ・ 集中して、リスニング問題、他者の説明や発表を聴くことができ、聴いたことを生かすことができる。 ・ 指示をよく聞いて、作業を行うことができる。 <small>(規範性)</small> ・ 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)はTOEIC IPテスト(団体テスト)でのリスニングが250点以上であること。 小テストで平均80点以上を得ていること。 A(優)はTOEIC IPテスト(団体テスト)でのリスニングが220点以上であること。 小テストで平均80点以上を得ていること。	B(良)はTOEIC IPテスト(団体テスト)でのリスニングが190点以上あること。 小テストで平均70点以上を得ていること。 C(可)はTOEIC IPテスト(団体テスト)でのリスニングが150点以上あること。 小テストで平均60点以上を得ていること。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・ガイダンス ・最初にTOEICリスニング問題を一通り聞いて問題を解いてみる。	・講義・演習 (問題を解く)	・ガイダンスをきちんと理解する。 ・TOEICリスニング問題を体験する。	Unit 1の名詞、10フレーズを読んでくる。 (復習) TOEIC構成を認識する。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	Unit 1 Let One's Hair Down 名詞の導入	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	Unit 2の前置詞、10フレーズを読んでくる。 (復習) 単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	Unit 2 In the Pink 前置詞の導入	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	Unit 3の接続詞、10フレーズを読んでくる。 (復習) 単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	Unit 3 Let the Cat Out of the Bag 接続詞の導入	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	Unit 4の5文型、10フレーズを読んでくる。 (復習) 単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	Unit 4 Sell like Hotcakes 5文型の導入	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	Unit 5の受動態、10フレーズを読んでくる。 (復習) 単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	Unit 5 Have Feet of Clay 受動態の導入	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	Unit 6の時制、10フレーズを読んでくる。 (復習) 単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	Unit 6 It's Fishy 時制の導入	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	Unit 7の関係詞、10フレーズを読んでくる。 (復習) 単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	Unit 7 No Ifs, Ands or Buts 関係詞の導入	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかりと認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	Unit 8の不定詞、10フレーズを読んでくる。 (復習) 単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	Unit 8 Jump the Gun 不定詞の導入	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	Unit 9の動名詞、10フレーズを読んでくる。 (復習) 単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	Unit 9 Eat Someone Up 動名詞の導入	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	Unit 10の仮定詞、10フレーズを読んでくる。 (復習) 単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	Unit 10 Have the World By the Tail 仮定詞の導入	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	Unit 11の否定、10フレーズを読んでくる。 (復習) 単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	Unit 11 Cool as a Cucumber 否定の導入	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	Unit 12の比較、10フレーズを読んでくる。 (復習) 単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	Unit 12 Turn Purple with Rage 比較の導入	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	Unit 13の完了形、10フレーズを読んでくる。 (復習) 単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	Unit 13 Have it Made 完了形の導入	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ※出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。 ・小テストで60点以上をとる。	Unit 14の助動詞、10フレーズを読んでくる。 (復習) 単語の復習と文の構造を意識しながら本文をもう一度読む。 PCを使い自分の興味のある英語のニュース等を見る。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	Unit 14 Get Out from Under 助動詞の導入	オンデマンド ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。)	・語彙・文法をしっかりと理解して、真面目に取り組む。	(復習) ・全体を総復習する。 ・苦手部分を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力